

報告書の構成（案）

はじめに

検討の基本的視点

制度の概観と本懇談会における検討事項

1 違反抑止につながる諸措置等の概観

2 本懇談会における検討事項

違反金制度の在り方

1 違反金と刑事罰の在り方

（1）憲法の禁じる二重処罰について

（2）違反金と刑事罰（法人処罰）の役割分担の有効性について

（3）一本化方式の可能性について

（4）併科の場合の調整規定について

2 不当な取引制限、私的独占（支配型）にかかる違反金の水準、算定方法等

（1）違反金の水準等について

（2）違反金の算定方法について

3 私的独占（排除型）、不公正な取引方法を違反金の対象とするかどうかについての検討

（1）私的独占（排除型）

（2）不公正な取引方法

4 違反金と他の不利益措置との関係

審判、行政調査手続等の在り方

1 審判制度の位置づけ

（1）不服審査型審判方式と事前審査型審判方式の特長

（2）不服審査型審判方式について指摘される問題点と考え方

（3）事前審査審判方式について指摘される問題点と考え方

（4）結論

2 審判官の在り方

3 審判・事前手続における証拠開示の在り方

4 行政調査（審査）手続の在り方

5 警告・公表の在り方

その他

1 独占禁止法違反行為に係る民事訴訟制度の在り方

2 公共調達の在り方